



World YWCA

Beyond 2015

The Future Young Women Want

HER FUTURE 彼女の未来

若い女性が求める未来：世界への呼びかけ

背景

今、世界は重要な岐路に立っています。過去 15 年間にわたり世界の開発課題の中心となってきたミレニアム開発目標 (Millennium Development Goals: MDGs) が、「次は何か？」という多くの人々の疑問を残したまま 2015 年にその計画期間を終えようとしているからです。

この目標達成期限にむけて出てきている経過報告からは、前向きな成果と失望するような後退の両方が示されています。たとえば、国連による最新の MDGs レポート (2012) によると、1 日 1.25 ドル未満で生活している人々の数は 20 億人から 14 億人に減少しており、期限までに MDG1¹ が達成できる可能性が示されています。また、その他の成功した分野として、初等教育における男女間の平等や世界中のマラリアによる死亡者の減少、そしてすべての地域での HIV と共に生きる人が治療を受ける機会の増加が挙げられています。

残念ながら、レポートは MDGs 達成のためのすべての努

力が、根強いジェンダー不平等によって損なわれ続けていることを強調しています。この結果、女性や少女に対する暴力をなくし、性と生殖に関する健康と権利 (SRHR) を保障し、世界中の経済において女性の活躍を促進するといった目標は、今もなお課題に直面しています。

MDG 後の開発アジェンダに影響を与えるため、今こそ若い女性が大きな役割を果たすよう促すときです。最終的な内容は決定されていないとはいえ、今後設定される目標は、主要な国際機関・地域機関の人的・技術的・財的資源を動かすでしょう。この枠組みが、世界中で貧困、飢餓、劣悪な保健状態に最もさらされやすい集団のひとつである 8 億 6,000 万人の若い女性たちの声によって形づくられることが必要不可欠です。MDG 後の開発課題は、若い女性たちという重要な人口グループのニーズや強みや願いをとらえたものとならなければならないのです。

『彼女の未来』は、MDGs の評価を進める中で、若い女性たちが自分たちの家族や社会そして国に望む未来について、若い女性の声を届けるために、世界 YWCA

¹ 極度の飢餓と貧困の撲滅 (2015 年までに 1 日 1.25 ドル未満で生活する人口の割合を 1990 年の水準の半数に減少させる、など)



によって編集されました。アフリカ、アジア、ヨーロッパ、ラテンアメリカ、カリブ、中東、太平洋そして北アメリカといった広範な地域からの若い女性による協議によって展開され、新しい研究成果、ならびに近年世界的・地域的レベルでおこなわれた若い女性の会議の成果が含まれています。

これまでの経験が示していることは、若い女性たち一人ひとりの声はしばしば忘れられ無視されるけれども、彼女たちが声を合わせれば、それはとても大きな声になる、ということです。

HER FUTURE

equal share of domestic duties between men and women
 speak several languages
 think independently
 human rights for everyone
 paid maternity leave
 resources to complete my education
 be a career woman
 be promoted into a senior position
 be a community leader
 sustainable living
 safe homes
 be free from stereotypes and degrading comments
 everyone's basic needs are met
 a loving childhood
 no more violence and war
 no impunity for perpetrators of sexual violence
 decent housing and reliable transportation
 people are willing to talk through conflicts instead of using weapons
 unity at all levels
 programmes for boys to respect girls
 uninterrupted electricity and access to internet
 friendly environment for people with disabilities and living with HIV
 young women to know their rights and claim them
 healthy relationships
 give back to my community
 own a house and car
 clean water and nutritious food
 be a professor
 access to counseling for victims of sexual violence
 retire knowing I have contributed to shaping meaningful lives
 have a family and a respected career
 own my business
 to be happy
 be an expert
 ending coup de tat
 no more military oppression
 open a private school
 equality
 peace and justice laws to be implemented
 be mentored and mentor others
 healing from traumatic childhood experience
 be a healthy mother
 democracy
 achieve a doctor in philosophy degree
 a husband that respects and honors me
 included and connected
 own a bakery
 spiritual and emotional independence
 obtain a masters degree
 wealth is equally shared
 work for an international NGO
 specialize in physical fitness and health
 be successful
 no terrorism
 be an ambassador
 stop online and offline bullying
 my community to be economically stable and peaceful
 peace and justice laws to be implemented
 être reconnue pour mes capacités
 food and shelter for all people
 financial freedom from debt and mortgages
 be a doctor and help my community
 respect for each others culture
 to raise healthy children
 learn new things everyday
 respect for religion and ideas



彼女の未来 HER FUTURE

若い女性が求める未来は、ジェンダー平等が保障され、法律が遵守され、権利が守られる未来です。どこにいる誰もが栄養豊富な食料を得られ、質の高い医療を受けることができ、清潔な水や電気などの基本的なサービスを受けられ、住居・教育・仕事・技術・移動手段などを得られる未来です。若い女性は、差別を受けることなく自らの持つ可能性を最大限に実現できる、平和で安全かつ持続可能な生活を願っています。

彼女の価値 HER Value

- ① 2010年の世界人口で18～30歳の若い女性はおよそ8億6,000万人に及びます¹。それは8億6,000万の心臓、意見、ものの見方、踊り方があるということなのです。8億6,000万の、他に一つと無い笑顔と笑い声があります。そして8億6,000万の実現すべき夢があるのです。
- ② 若い女性は社会と国の発展への重要な役割を担っています。彼女たちはこの10年間に新たに労働市場に入る10億人の中の重要な一部です。彼女たちは家族のありかたを変えていくことができる未来の母であり、彼女たちは人類の行く末を変えることのできる素晴らしい人的資本なのです。若い女性が経験するものごとは若い男性のそれとは異なりますし、女性一般のそれとも異なります。すべてのグループを同じように扱う「フリーサイズ」的アプローチは、前向きな変化をおこす努力と多様性の認識を阻害します。
- ③ 若い女性をターゲットにするあらゆるプログラムは、意味のある参加の促進、差別がないこと、義務履行者(政府など)が人権を尊重し保護し保障する責任といった、人権基盤アプローチに裏打ちされている必要があります。若い女性は、彼女たちのためになることを目的とした多様なプログラムのそれを

デザインと実行に積極的に参加する権利があります。つまり、諸組織・機関は、これを保証する義務があるということです。世界YWCAは、私たち自身の動きの中で若い女性たちと協議しリーダーシップをとる機会を提供することにより、これを先導することを約束します。

- ④ 「3人に1人の女性が生涯のうちに暴力を受けたり強姦されたりする²」世界では、効果的で持続可能な変化を起こすには、「**変革をもたらすリーダーシップ**」を要します。これは、差別・不平等・人間の尊厳の否定を持続させるシステムや構造に立ち向かい、現状を変えるためのリーダーシップを意味します。
- ⑤ 若い女性の人生(生涯)において思春期からの移行期は、独立を得、責任を学び、意思決定し、関係構築をし、子どもを得、時に間違いを犯し、そして学習しながら高い人間性を形成する期間です。そこで、あらゆる年齢のメンターたちの知恵と見識は、若い女性が安全に成人に移行していく上での選択や決定を形づくる助けとなります。若い女性のアイデアや想像力もまた新しく革新的なアプローチをもたらします。そこで、世界YWCAはすべての世代からの貢献を尊重する**世代間を超えたリーダーシップと対話**を促進します。
- ⑥ 若い女性の**意味ある参加**とは、彼女たちが「意思決定の場」に向かう上での一連のエンパワーの瞬間を指します。「意味ある参加」ができるとき、彼女は自分に直接影響をもたらす政治改革・政策・プログラムに対する自分の意見を、助言し、共有し、歌い、唱えることができます。そのために、人的資源と自然資源を有効に活用することができます。
- ⑦ 私たちが平和・平等・正義のある世界を達成するには、世界の8億6,000万人の若い女性たちへ責任を持たなければなりません。彼女たちはただの



数字ではなく、計り知れない価値を持っています。国々の貴重な財産であり、持続可能な人間開発を達成するための重要な人口グループであり、そして人類の未来を形成するための声となるべき存在なのです。

彼女の挑戦 HER Challenge

- ⑧ 世界の若い女性は、経済の安定、性と生殖に関する健康に関わる差別や強制のない自由な選択権、あらゆる暴力からの解放、資源や情報への平等なアクセス、活発な市民権、自らのリーダーシップを発展させる機会などを得る上で課題に直面し続けています。若い女性による「意味ある参加」を求める声の多さにもかかわらず、彼女たちは子どもたちを対象としているプログラムに十分に含まれていなかったり、若者のプログラムにおいて男子より人数が少なかったり、また女性を対象としたスペースでもしばしば年齢が若いために意見を述べるのができないため³、見過ごされてしまいます。若い女性は発展を遂げるための重要なグループとして認識されるべきであり、一般的なアプローチに吸収されてはならないのです。
- ⑨ 若い女性に対する暴力と性と生殖に関する健康の権利は複雑に関わっています。性的暴行の行為は性的な権利を直接害します。そして、精神的および身体的な健康と能力に影響を与えることになるのです。同様に、一方的な価値観に基づかず、プライバシーが守られ、科学的根拠に基づく性と生殖に関する健康の情報やサービスを受けることができないために、若い女性は望まれない妊娠や危険な墮胎そして性行為による感染症にかかりやすい状態が続いています。毎分若い女性が新たに HIV に感染しており、発展途上国の若い女性の 5 人に 1 人だけが HIV に関しての基本的な事実を知っているという状況です⁴。多くの若い女性は、年齢が若いうちに強制的な結婚や出産するという状況に直面しています。「子どもが子どもを産む」と表現されることがある未成年の妊娠は、ラテンアメリカとカリブ海地方だけで総出生率の 18% を占めています⁵。18 歳になる前に出産する女性は、妊娠と出産での危険性が増します。性と生殖に関する健康に対する権利が実現するのならば、若い女性たちは包括的な性教育や HIV 教育また性と生殖に関する健康の医療を受ける機会や、結婚や出産を自由に決定する能力を備えているべきです。この権利を害するありとあらゆる暴力は根絶されなくてはなりません。
- ⑩ 若い女性は、重要な対象グループであると同時に、人生の一局面を象徴する存在であるということを中心に留め、若い女性の幼児期の経験を取りあげなくてはなりません。およそ 25 万人の少年兵⁶のうち 40% が少女であることが数字として明らかになっています⁷。アフリカでは、9,200 万人⁸の少女が FGM（女性器切除）を受けました。そして主にサブサハラ・アフリカと南アジアでは 6,000 万人⁹の少女が 18 歳を前に結婚している。さらに、およそ 1 億 5,000 万人の 18 歳以下の女性は何らかの性的暴行を受け、2010 年において南部アジアの子どもたちの 3 分の 1 が体重不足でした。犠牲者か目撃者かにかかわらずそのために受けた身体的な傷と心理的なトラウマは、若い女性の社会化に影響を与えます。それは、社会的な関係機能の混乱、社会生活への貢献能力と信頼性を弱め、生産性を減らし経済的な自立達成能力を損なうといった不安定な状況を生み出します。我々は若い女性のすべての可能性を発揮することができるように、少女の人生の社会転換を約束しなければなりません。
- ⑪ 働いて普通の生活ができるという希望を失い、労働市場から完全に離れてしまった若者（男性・女性とも）、世界労働機関が「失われた世代」と規定した人びとに対する懸念が膨らんでいます¹⁰。教育のレベルが上がっているにもかかわらず、若い女性



が同年代の男性の70-90%の賃金しか得られず、その上職場で性的嫌がらせや虐待を受けている状況(IOL2012)では、**経済的独立**は得られません。若い女性は、同年代の男性と比べると、性の格差という負荷のために、失業や低い就職率がもたらす弊害をより強く受けます。2011年の男女格差が最も高い地域として、南アジア(34.1%)、中東(33.6%)、北アフリカ(27.4%)が挙げられます¹¹。国家レベルの汚職、犯罪者が処罰されないまたは適切な刑の執行がなされないこと、出産差別を受けることも、現在の若い女性の立場を弱くしている背景にあります¹²。コミュニティが成長するためには、若い女性が適正な労働条件や賃金そして適正な仕事にアクセスすることができるようにするほかにないのです。

- ⑫ 若い女性が新たな開発計画に重要な対象グループとして打ち出されている今も、我々は一部の若い女性がさらに大きな疎外に直面していることを知っています。性的指向、性のアイデンティティ、人種、民族、HIV ステータスは差別と偏見の原因となっています。地方の遠隔地に住む若い女性、障がいを持つ若い女性、非識字の若い女性、移住者の若い女性などは、社会でより根深い差別の経験をする傾向があります。持続可能な人類の発展を達成しようとするのなら、最も弱い立場の人々を含めた社会の発展を進めていかななくてはなりません。

彼女の望み(要請・訴え) HER Call

若い女性が求める未来は、以下のことを保障する全体的な枠組みであるべきです。

- ⑬ a 人権に基づいたアプローチ。あらゆる国際的、地域的、国家的枠組みにおいて、すべての人々の人権を尊重し保護し保証する人権原則が組み込まれることを求めて、世界中の若い女性が声を合わせています。
- b すべての目標・目的設定においてジェンダーが

主流な要素として組み込まれること、その際のデータが、一般的な世界的指標と国内目標とともに年齢・性別によって分類され、それによって、若い女性の生活実態が異なる統計の間で歪曲されることなく本物の進歩を得ること。

c ミレニアム開発目標に加えて、北京行動綱領の20年レビュー、国際人口・開発会議「行動計画」、リオ+20 持続的開発目標などの国際レビュー会議、また、子どもの権利条約、女性差別撤廃条約、国連安保理決議 1325 号などの既存の国際条約を含めた総合的なアプローチにより、活用できるものを最大化し協調させるようにすること。

d 将来の目標・ターゲットへの説明責任遵守、モニタリング、および評価にあたって、国家が若い女性の課題を自らの課題とするようにし、成果を増加させ、包括的な課題全体にわたって資源がさらに分配されるようにし、政府間・市民間・民間のパートナーシップを向上させるようなプロセスをとること。

⑭ ポスト2015 開発アジェンダ:

若い女性が求める未来を保証するために、ポスト2015 開発アジェンダの決定において国連・政府・市民社会に以下を提言します。

- a. 依然として存在するジェンダー不平等と偏見をなくすためのさらなる努力と資源の拡大を含め、新たなアジェンダにおける最優先課題としてジェンダー平等を保持する。
- b. 2030年までに、世界の若い女性は以下のことを望みます。

i. 女性と子供に対する暴力廃止

- ・ 特に紛争下において、暴力の加害者を決して許容することなく、加害者が罰せられない状況を止めることにより、女性、若い女性そして少女に対するあらゆる形態の暴力を阻止すること。
- ・ 早婚や強制的な結婚、FGM(女性器切除)その他の害を及ぼす伝統的慣習の撲滅



- ・ 被害者が尊厳と尊重をもって扱われることを確保するため、住まい、医療、法律相談、カウンセリングの提供を含む被害者への支援と救済、ならびに特に被害者を対象とする教育プログラムの提供
- ・ 男らしさの再定義、ならびに暴力の阻止とジェンダー平等の達成にむけた男性と少年の参加の向上

ii. 性と生殖に関する健康と権利の実現

- ・ 学校内外での、すべての若い人に対する包括的で年齢に見合った性教育
- ・ 科学的根拠に基づき、偏見のない、プライバシーの守られるサービスの提供、健康管理提供者の研修を含む、性と生殖に関する健康のサービスと権利に誰もが平等にアクセスできること
- ・ 効果的で自発的な HIV 予防、治療、看護、支援に対して誰もが平等にアクセスできること

iii. 若い女性の意味ある参加

- ・ 弱い立場に置かれたグループを含む若い女性たちが、私たちに影響を与えるすべての段階や分野での決定に参加しリーダーシップを

発揮できる安全な場

- ・ 女性が市民的、政治的、社会的そして文化的権利を行使できるようになるための、情報とサービスへのアクセス
- ・ 平和構築の過程への、若い女性と若い男性の参加
- ・ 若い女性の全体的発展を目標として、資源と政治的意志が傾けられること

iv. 教育、経済的なエンパワメントと資源へのアクセス

- ・ 質の良い初等、中等教育への、すべての少女と少年の就学と参加
- ・ 教育から職業への首尾よい移行のため全ての若者に対して職業技術、就労、企業機会への公正なアクセス
- ・ 財産、資産、土地の管理と所有権への平等なアクセス
- ・ 気候変動を和らげクライメート・ジャスティス（気候公平性）を保証するため、平和で持続可能かつ困難に打ち勝つ力を持つコミュニティの構築に向けたリーダーシップ

¹ UNFPA, 2011

² Statics: One Billion Rising

³ World YWCA. 2012. Pacific Young Women Strategy

⁴ UNAIDS, 2011

⁵ International Planned Parenthood & Guttmacher Institute. 2010. Facts on the Sexual and Reproductive Health of Adolescent Women in the Developing World. Retrieved <http://www.guttmacher.org/pubs/FB-Adolescents-SRH.pdf>.

⁶ War Child <http://www.warchild.org.uk/issues/child-soldiers>

⁷ Say No to Violence Fact Sheet http://saynotoviolence.org/sites/default/files/Say_NO_VAW_Factsheet.pdf

⁸ Say No to Violence Fact Sheet (as above)

⁹ ILO. 2012. Youth unemployment at highest recorded level - ILO report; 36 million Asia Pacific young people unemployed – A possible “Lost generation”. ILO Regional Office for Asia and the Pacific, Bangkok. Web. July 18th 2012.

¹⁰ ILO. 2012. Global Employment Trends for Youth 2012. International Labour Office, Geneva. ILO. Web. 18th July 2012

¹¹ ILO. 2012. Global Employment Trends for Youth 2012. International Labour Office, Geneva. ILO. Web. 18th July 2012

¹² World YWCA survey of young women

発行：世界 YWCA
日本語訳：日本 YWCA

